

Tsuyama College		Year	2018		Course Title	日本漢字能力検定	
Course Information							
Course Code		0079		Course Category		General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		Department of Computer and Information Engineering		Student Grade		5th	
Term		Year-round		Classes per Week		1	
Textbook and/or Teaching Materials		参考書：国語辞典，漢和辞典，日本漢字能力検定 2 級以上に対応した問題集（どの出版社のものでもよい），漢検（日本漢字能力検定協会）公式ホームページ http://www.kanken.or.jp/					
Instructor		EHARA Yumiko					
Course Objectives							
学習目的：常用漢字や熟語等の日本語知識について理解を深め,それらを適切に活用して表現する力を高める。							
到達目標 1．漢字が関わる日本語の知識を増やし，それらを適切に用いて表現できる。 ◎ 2．効果的な説明方法や手段を用いて，コミュニケーションを図ることができる。							
Rubric							
	優		良		可		不可
評価項目1		日本漢字能力検定 2 級以上に優秀な成績で合格する。		日本漢字能力検定 2 級以上に良好な成績で合格する。		日本漢字能力検定 2 級以上に合格する。	
評価項目2		日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かし，より良いコミュニケーションを行うことができる。		日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かし，円滑なコミュニケーションを行うことができる。		日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かし，コミュニケーションを行うことができる。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		一般・専門の別：一般 学習の分野：国語 必修・履修・履修選択・選択の別：選択 基礎となる学問分野：人文学／言語学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（3）生きるための活力と，その自由な表現力を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（E）研究能力の育成，E－2：与えられた制約の下で，自主的・計画的・継続的に自己学習できること」である。 授業の概要：漢字の学習を自主的に行い，日本漢字能力検定（漢検）の受験でその成果を試す。					
Style		授業の方法：担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定の受験に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。 成績評価方法：日本漢字能力検定 2 級以上に合格した者は，担当教員に申し出るとともに，学年末試験の最終日までに教務係へ単位取得申請を行うこと。教務委員会で単位認定を審議し，合・否で評価する。					
Notice		履修上の注意：所定の期日までに，選択科目履修願を提出すること。また，本科目は資格取得による科目であり，単位の取得には単位取得申請手続きを行うことが必要である。選択科目（自発的学習科目を除く）の内，教務委員会で認定される単位数は，一般科目については4単位以内である。 履修のアドバイス： ・公開会場（県内は岡山市と倉敷市に設置）で個人受験をすること。平成30年度の公開会場の検定日は，第1回が6月17日（日），第2回が10月14日（日），第3回が平成31年2月3日（日）。 ・2級は，C B T 受験も可能。県内の試験会場は，岡山市と倉敷市に設置されている。 基礎科目：国語Ⅰ（1年），国語Ⅱ（2），国語Ⅲ（3），国語Ⅳ（4） 関連科目：漢字が関わる全科目 受講上のアドバイス： ・2級は，高校卒業・大学・一般程度のレベル（すべての常用漢字について，読み書きや，文章中での適切な使用ができるレベル）であるが，実力で合格することは難しく，受験対策の勉強が必要である。 ・1級は常用漢字（2136字）を含む約6000字，準1級は常用漢字を中心とした約3000字が対象漢字となる。どちらの級も大学・一般程度のレベルとされているが，合格するにはかなりの努力が必要である。 ・以上をふまえ，自身の漢字能力と受験日に合わせて，学習を進めること。					
Course Plan							
			Theme			Goals	
1st Semester r	1st Quarter	1st	日本漢字能力検定についてのガイダンス。				
		2nd	担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定 2 級以上の受験に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。				
		3rd	同				
		4th	同				
		5th	同				
		6th	同				
		7th	同				
		8th	（前期中間試験）				
	2nd Quarter	9th	担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定 2 級以上の受験に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。				
		10th	同				
		11th	同				
		12th	同				

2nd Semester		13th	同	
		14th	同	
		15th	(前期末試験)	
		16th	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定 2 級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	
	3rd Quarter	1st	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定 2 級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	
		2nd	同	
		3rd	同	
		4th	同	
		5th	同	
		6th	同	
		7th	同	
		8th	(後期中間試験)	
	4th Quarter	9th	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定 2 級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	
		10th	同	
		11th	同	
		12th	同	
		13th	同	
		14th	同	
		15th	(学年末試験)	
		16th	合格者に対する、単位取得申請手続きの説明。	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	Total
Subtotal	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0